

— 広がる銅版画の世界 II — — 腐食銅版画の魅力 —



川田英二《Theoria 09-06》2009、ステンシルアクアチント

【会期】

8月21日(水)～8月24日(土)
10:00-18:00 (最終日は17:00まで)

※予約不要・入場料無料

【関連イベント】

① 受講生によるギャラリートーク

8月24日(土) 10:30-、13:00-

② 川田英二氏によるアーティストトーク

8月24日(土) 15:00-

※予約不要・入場料無料

エッチングやアクアチントなど、防食剤で覆った銅板に腐食を施すことで原版を作成する腐食銅版画は、銅版画の代表的な技法です。わが国では、第二次世界大戦後にその自在な表現の可能性が注目され、数多くの実験的な取り組みがなされました。本展では拡張する腐食銅版画の魅力の一端を、二見彰一、中林忠良ら、新感覚の表現世界を切り開いてきた作家を中心に約10点の作品で紹介します。なお、本展覧会は「一般博物館実習」の一環として行われるもので、運営は受講生によって行われます。

会場 | 名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

住所 | 〒464-8601 名古屋市中種区不老町

主催 | 名古屋大学人文学研究科博物館学研究室

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/clas/>



地下鉄名城線「名古屋大学」駅

1番出口より西へ5分、全学教育棟南入口横

clas

cell for
liberal
arts &
sciences